

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 協立電機株式会社

コード番号 6874 URL <http://www.kdwan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西 雅寛

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 中木 照雄

TEL 054-288-8888

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	6,784	△6.3	135	△45.0	151	△49.2	88	△41.0
25年6月期第1四半期	7,239	9.9	246	106.6	297	149.2	150	138.5

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 120百万円 (△22.0%) 25年6月期第1四半期 154百万円 (202.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	22.37	—
25年6月期第1四半期	38.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年6月期第1四半期	19,556	7,420	36.5
25年6月期	18,280	7,426	39.1

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 7,137百万円 25年6月期 7,149百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	32.50	32.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,000	△1.3	430	△18.7	500	△24.8	280	△28.1	70.68
通期	27,200	3.6	800	31.8	1,000	0.9	500	△16.7	126.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期1Q	4,369,200 株	25年6月期	4,369,200 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期1Q	407,776 株	25年6月期	402,865 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期1Q	3,964,811 株	25年6月期1Q	3,948,502 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、アベノミクスの効果による円安・株高等が定着しつつある状況下、国内消費には回復の兆しが見えてきましたが、製造業においては海外経済の減速による輸出の低迷や将来の我が国経済見通しの不確実性等から、海外設備投資に関しては引続き積極的であったものの国内設備投資に関しては未だ慎重姿勢を崩しておらず、全般的に回復感が乏しい状況で推移しました。

当社グループとしましては、斯様なビジネス環境下において、この10余年にて構築した中国、東南アジアを中心とした海外ネットワークをフルに活かし、我が国製造業の海外への製造拠点移管により発生する新たな設備投資需要を積極的に取り込む努力を続けてまいりましたが、当第1四半期連結累計期間は受渡の谷間に入ったことで海外の大型案件の売上が少なかったこと、国内案件も引合・受注段階は活発化しつつあるものの、売上計上までには至らなかった案件が多かったこと等より前年同四半期と比較し、減収・減益となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は67億84百万円(前年同四半期比6.3%の減)となり、損益面としましては、営業利益が1億35百万円(同45.0%の減)、経常利益が1億51百万円(同49.2%の減)、四半期純利益が88百万円(同41.0%の減)となりました。

なお、当社グループのセグメント別概況は次のとおりです。

<インテリジェントFAシステム事業>

インテリジェントFAシステム事業では、太陽光発電プロジェクト等環境・省エネ関連で取引を伸ばすことができましたが、当第1四半期連結累計期間が大型海外プロジェクトの受渡の谷間となり、大型海外プロジェクトの売上がなかったことから、セグメント全体としては減収・減益となりました。

以上の結果、インテリジェントFAシステム事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は24億43百万円(前年同四半期比20.3%の減)、営業利益は35百万円(同68.2%の減)となりました。

<IT制御・科学測定事業>

当事業のうちIT制御は主として製造業の合理化・研究開発の自動化等を目的とした設備投資の対象であるため、比較的景況の影響を受け易い傾向にあります。一方、当事業でも科学測定事業は科学分析・計測機器等に代表される企業の新製品開発を目的とする部門や品質管理部門を対象とするため、景気の動向に左右されにくく安定的な分野であります。当第1四半期連結累計期間においては試験研究のための科学分析機器や省力化のためのロボット等の取引が伸張しましたが、引続き海外への生産移管が進んでいるため国内での生産拡大のための設備投資が不活発で、セグメント全体としては若干の増収とはなかったものの減益となりました。

以上の結果、IT制御・科学測定事業の当第1四半期連結累計期間における売上高は43億22百万円(前年同四半期比4.0%の増)、営業利益は1億68百万円(同17.5%の減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の合計額は195億56百万円で、前連結会計年度末に比べ12億76百万円の増加となりました。これは主として取引伸張により受取手形及び売掛金が8億15百万円増加したこと、現金及び預金が2億95百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、負債の合計額が121億36百万円で、前連結会計年度末に比べ12億83百万円増加しました。これは主として取引伸張により支払手形及び買掛金が8億24百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、純資産の合計額が74億20百万円で、前連結会計年度末に比べ6百万円減少しました。これは主として四半期純利益が88百万円ありましたが、配当を1億21百万円実施したこと等により利益剰余金が30百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現下の世界主要国の経済情勢は、欧州経済が金融不安を原因とした景気後退から脱却しつつある状況ですが、米国経済はここにきて景気回復の足取りが重くなってきているところへ財政問題に対する与野党の対立決着が先送りされ、米国債デフォルトのリスクが完全に消えたわけではないこと、中国経済も昨年誕生した習近平・李克強政権が安定成長を志向しており、過去の高度経済成長路線とは異なる成長スピードを志向していること、東南アジア諸国も国によって状況は異なるものの概して輸出の落込み、貿易赤字の拡大により成長率を落としていること等より世界経済全般に好況感が戻るまでには今暫く時間がかかる情勢であります。

一方我が国経済の足元は、大規模金融緩和効果をもたらした円安・株高等による消費の回復微増が見て取れますが、これが設備投資の拡大には繋がっておらず、また現在の金融緩和政策が賃金上昇と設備投資の拡大に波及し本格的な景気回復に繋がるのかはまだ見通せない状況ではあります。加えて、来年4月の消費税率引き上げが決定されたことで、来年の3月末にかけて需要が先取りも含めて大きく拡大し、一時的ではあるにせよ経済が活況を呈することが予想されるものの、同時に4月以降の景況も懸念される状況にあります。

斯様な環境下、当社グループは安定して拡大基調にある我が国製造業の海外への製造拠点移転により発生する新規需要を当社グループの海外子会社ネットワークをフルに活かして積極的に取り込んでおり、特にここ1、2年で拠点を設立したベトナム及びインドネシアでは今後大きな取引拡大が期待できます。

また国内においてもスマートグリッド技術に当社グループが得意とするインテリジェントFA技術を融合させた省エネ・省電力を目指す「グリッド・グリーン」や波のエネルギーを利用して発電を行う「越波型波力発電」装置を開発、一部は販売を開始して好評を得ており、これら環境・省エネ関連製品を強化していくことで一層の業績拡大が期待できるものと考えております。加えて最新鋭の画像技術を駆使した半導体基板検査装置も発売開始以来好調に販売を伸ばしており、これらの製品群は当連結会計年度の第3四半期以降に売上がる案件が多く、今後さらに売上を伸ばしていくものと考えております。

以上により、平成26年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年8月9日の決算短信にて発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	714,723	1,010,094
受取手形及び売掛金	7,929,702	8,745,129
有価証券	796,758	662,186
商品及び製品	338,718	437,241
仕掛品	435,025	408,353
原材料	555,371	546,513
その他	420,146	494,553
貸倒引当金	△60,278	△60,671
流動資産合計	11,130,168	12,243,402
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,338,939	4,399,009
その他(純額)	930,023	951,370
有形固定資産合計	5,268,963	5,350,380
無形固定資産		
	76,502	96,274
投資その他の資産		
投資有価証券	1,298,013	1,362,818
その他	590,302	587,865
貸倒引当金	△83,608	△83,917
投資その他の資産合計	1,804,708	1,866,766
固定資産合計	7,150,174	7,313,421
資産合計	18,280,343	19,556,823
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,929,817	6,754,346
短期借入金	3,300,000	3,800,000
1年内返済予定の長期借入金	27,861	28,745
未払法人税等	230,547	83,037
賞与引当金	115,729	236,829
役員賞与引当金	43,070	—
その他	492,086	525,701
流動負債合計	10,139,111	11,428,660
固定負債		
長期借入金	48,093	39,169
退職給付引当金	142,361	143,931
負ののれん	3,634	2,725
その他	520,197	522,024
固定負債合計	714,286	707,851
負債合計	10,853,398	12,136,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,440	1,441,440
資本剰余金	1,832,110	1,832,685
利益剰余金	4,300,465	4,270,163
自己株式	△483,135	△490,142
株主資本合計	7,090,880	7,054,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,679	83,334
その他の包括利益累計額合計	58,679	83,334
少数株主持分	277,384	282,830
純資産合計	7,426,944	7,420,311
負債純資産合計	18,280,343	19,556,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,239,364	6,784,727
売上原価	6,181,924	5,802,326
売上総利益	1,057,440	982,401
販売費及び一般管理費	810,927	846,711
営業利益	246,512	135,690
営業外収益		
受取利息	1,831	3,496
受取配当金	1,740	1,465
仕入割引	8,933	7,533
持分法による投資利益	7,161	3,226
負ののれん償却額	908	908
助成金収入	29,200	7,736
雑収入	11,682	4,742
営業外収益合計	61,458	29,110
営業外費用		
支払利息	5,722	4,366
手形売却損	405	1,209
売上割引	894	702
為替差損	3,711	5,305
雑損失	—	2,110
営業外費用合計	10,734	13,694
経常利益	297,237	151,105
特別利益		
固定資産売却益	52	—
投資有価証券売却益	2,835	22,459
特別利益合計	2,888	22,459
特別損失		
固定資産除却損	6,496	3,537
固定資産売却損	45	532
投資有価証券評価損	5,920	—
その他	14	—
特別損失合計	12,476	4,069
税金等調整前四半期純利益	287,649	169,495
法人税等	116,462	77,545
少数株主損益調整前四半期純利益	171,187	91,950
少数株主利益	20,791	3,262
四半期純利益	150,395	88,688

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	171,187	91,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,537	28,689
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△15
その他の包括利益合計	△16,526	28,673
四半期包括利益	154,660	120,624
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,408	113,343
少数株主に係る四半期包括利益	15,252	7,281

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,066,719	4,155,973	7,222,692	16,672	7,239,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,618	18,744	40,362	14,560	54,922
計	3,088,337	4,174,717	7,263,054	31,232	7,294,287
セグメント利益	112,605	204,005	316,610	21,181	337,792

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	316,610
「その他」の区分の利益	21,181
全社費用(注)	△91,279
四半期連結損益計算書の営業利益	246,512

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	インテリジェントFAシステム事業	IT制御・科学測定事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,443,657	4,322,289	6,765,947	18,780	6,784,727
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,985	36,246	54,231	14,438	68,670
計	2,461,642	4,358,536	6,820,179	33,219	6,853,398
セグメント利益	35,799	168,335	204,134	23,208	227,343

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	204,134
「その他」の区分の利益	23,208
全社費用(注)	△91,652
四半期連結損益計算書の営業利益	135,690

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。